

原泌尿器科病院 透析室だより

2015(平成 27 年)11 月発行

第 45 号

発行者 原泌尿器科病院 透析室

病院理念

信念を持って真摯に医療をおこなうこと

基本方針

患者さんが納得される最適な医療を 安全に提供します

患者さんにとって良いことは 優先しておこないます

最新の治療法を積極的に取り入れます



♪ ちいさい秋、ちいさい秋、ちいさい秋、見つけた～♪

朝晩の寒暖差も大きくなり、街の木々たちもお化粧の仕度を始めました。いよいよ秋本番ですね。そしてこの時期は体調を崩しやすくなる時期でもあります。さらに空気の乾燥もすすんできましたのでいよいよインフルエンザが流行しやすい時期となりました。

2015年の残り2ヶ月を楽しくすごせるよう、よく食べてよく透析をし、外出後の手洗い・うがいを頑張りましょう！！！！

次のページからは「インフルエンザにかかっちゃったら透析はどうなっちゃうの?!」について ドド～ン! とお教えしちゃいま～す

インフルエンザが やってくるよ！の巻

皆さんが安全に安心して透析が受けられるように
以下のことについて御協力をお願いいたします。

《個人で気をつけること》

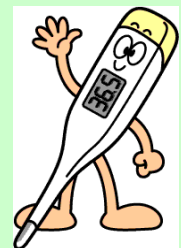
- ① 毎日**体温**を測りましょう。
- ② 発熱時や風邪症状があれば **必ず病院へ電話連絡**しましょう。
(同居人や職場など身近にインフルエンザ感染の
疑いがある人のいる場合も病院へご連絡ください)
- ③ 外出するときは、マスクを着用しましょう。
- ④ 手洗い・うがいの習慣をつけましょう。
- ⑤ 透析室入室前に手洗いをして、手指消毒をしましょう。



《来院する前には・・・》

必ず自宅で体温を測りましょう。

- ✓ 体温が **37.5** °C以上ある(熱がある)
- ✓ 風邪症状がある(熱がない場合も含みます)
- ✓ 同居人や職場など身近にインフルエンザ感染の疑いの方がいる

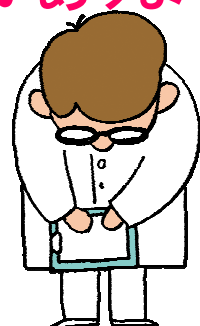


上記の項目に当てはまる方は、**病院に来る前に必ず電話連絡してください。**
感染拡大を防ぐために 通常の時間帯とずらして来院していただきます。
電話にて来院時間をお伝えしますので、ご協力お願いします。

原泌尿器科病院 TEL 078-371-1203 AM 7:30～ 透析室まで

《インフルエンザ感染拡大時の透析について》

インフルエンザに感染した患者さんには、他の患者さんへの感染を予防するため 3 階病棟を改装し、透析ができるよう準備しています。しかし インフルエンザ感染者が増えた際には、透析室で感染者の透析を行うため、インフルエンザにかかっていない方にも時間帯やベッド場所の変更をお願いすることがあります。その際には、ご理解とご協力をお願いいたします。



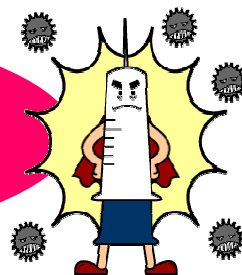
《インフルエンザ予防接種のお知らせ》

現在インフルエンザワクチン予防接種を実施しています。

透析患者さんは、インフルエンザに「かかりやすく」「治りにくい」うえ、症状が重くなるおそれがあります。インフルエンザに対する抵抗力が低いと認識しましょう。

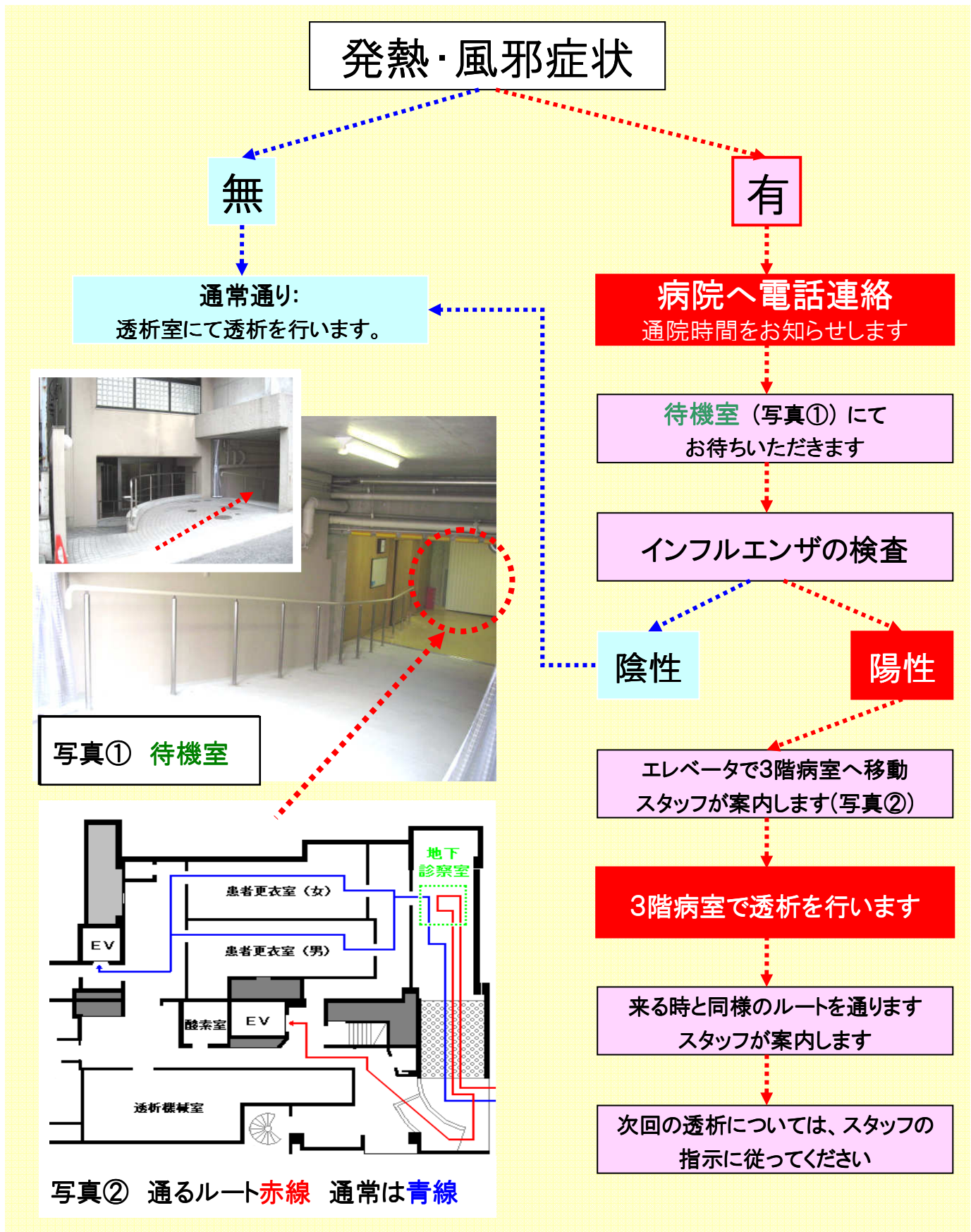
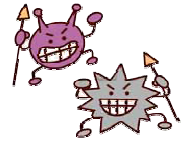
まれに 予防接種を受けてもインフルエンザにかかることがありますが、予防接種を受けていると、軽症で早く直ります！

インフルエンザに負けないため、
みなさん予防接種を受けるよう、よろしくお願いします



《インフルエンザにかかってしまった患者さんは・・・》

下記の流れに沿って透析を行います。





その咳（せき）、くしゃみ・・・
ちょっと待った～！

**咳（せき）で 1.5 メートル、くしゃみで 3 メートル
ウイルスを含む「しぶき」は飛び散ります。**

透析患者さんは健康な人に比べ抵抗力が低いと言われています。

透析室は隣の患者さんとの距離も近く、治療中はベッドから離れることもできません。自分の健康を自分で守るのと同じように、周囲の患者さんへも気配りをお願いします。（スタッフよりマスク着用のお声がけをする場合もあります）

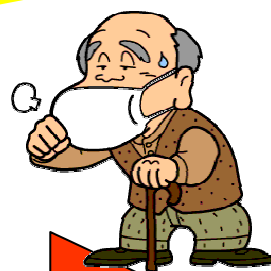
咳（せき）の出るとき

くしゃみの出るとき

咳（せき）・くしゃみが出そうなとき

室内で咳（せき）・くしゃみをしている人が居るとき

こんなときは・・・



マスクの着用を、おねがいします!!

マスクの心得

其の一、

鼻の部分に隙間があったり、あごが出ていては効果がありません。 **きちんと鼻と口を覆いましょう！**

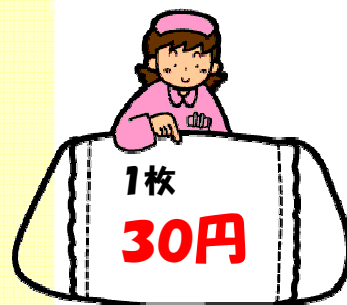
其の二、

「保温」や「保湿」の効果もあり のどを守ります！

其の三、

当院の受付で購入いただけます。透析中に欲しくなった場合も大丈夫！ スタッフへお声がけください、ご用意します！

みなさん
ヨロシクね！！



ヒートショックってナニ?!

「ヒートショック」をご存知ですか??

ヒートショックとは 温度の急激な変化で血圧が上下に大きく変動することによって起こる「健康被害」です。失神したり、心筋梗塞や不整脈、脳梗塞を起こしたりすることがあり、特に冬場に多く見られます。

入浴時に注意!

ヒートショックは入浴時に多く発生します。

「脱衣所」や「浴室」は暖房をしていない事が多く

冬場は室温が10度以下になることも珍しくありません。寒い脱衣所で衣服を脱ぐと、急激に体の表面の温度が10度ほど下がります。すると私たちの体は血圧が急激に上がります。この血圧の急上昇が「心筋梗塞」や「脳卒中」を起こす原因の一つだといわれています。

さらに 脱衣所で急上昇した血圧は、「湯船」に浸かることにより血管が広がり反対に急激に低下してしまいます。この血圧低下が失神を起こす原因の一つです。浴槽内で失神する事により、おぼれて亡くなるケースは入浴中急死の典型例です。

入浴中の急死は
交通事故死亡を上回るのです!

こんなアナタは注意しましょう!

高齢者

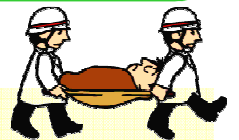
日ごろ元気な場合でも血圧変動をきたしやすく、体温を維持する働きが低下しているので特に注意!

高血圧

血圧の激しい上下変動により、急激な低血圧を起こしやすく意識を失う危険が大きいです!

糖尿病

動脈硬化が進行し急激な血圧変動を起こしやすくなっている恐れがあります!



予防と対策!

